

## 投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (都市河川係長 糟谷昌俊)	内線	4408 (4417)
------	-------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

事業種目	河川	事業採択年度	S47		現計画	再評価時点
事業名	高潮対策事業 (二)野田川水系野田川	着工年度	S47	総事業費	109億円	93億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	2億円	2億円
事業区間	姫路市飾磨区中島～上野田			完成予定年度	H20	-
所在地	姫路市			進捗率 (内用補進捗率)	85%(100%)	72%(100%)
事業の目的				事業内容		
<p>播磨灘沿岸では、昭和39年9月台風20号、昭和40年9月台風23号で高潮による浸水被害に見舞われ、当該河川では、昭和51年(浸水面積36ha、浸水家屋830戸)等、過去から大規模な浸水被害に見舞われてきた。</p> <p>このため、当該地域の浸水被害を防止するために、高潮被害を防御するとともに、洪水に対する治水安全度1/100を目標に改修を行い、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するものである。</p>				計画流量	Q = 120m <sup>3</sup> /s (治水安全度1/100：河口)	
				実施内容	L = 1,895m W = 26m ~ 16.6m 掘削、護岸、橋梁12橋、水門、排水機場等	
進捗状況	<p>昭和47年度に着手し、これまでに水門、排水機場、橋梁改築、河積拡大等を行い、事業区間内での全川の構造物を完了させた。</p> <p>再評価時点(H10)から、H15までに排水機場を完了させるとともに河床掘削のための調査を行ったところであり、今後は河床掘削を進め、平成20年度に事業を完了させる予定である。</p> <p>また、河川整備計画を現在策定中である。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	・ 姫路市南部市街地、鉄道(山陽電鉄)等を浸水被害から守るため、水門、排水機場、護岸、横断構造物の改築等の河川改修工事を実施しており、残区間の治水安全度を早期に向上させるため、継続的な整備を実施する必要がある。					
(2)有効性・効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ B / C = 2 . 3</li> <li>・ 残事業は河床掘削のみであり、事業の早期進捗を図る。</li> <li>・ 河川整備計画策定のため流域懇談会を開催しており、事業に対する地域住民の意識が高い。</li> </ul>					
(3)環境適合性	・ 周辺に地下水利用が多いことから、河床掘削に際しては、地下水位の変動に留意しながら段階的に施工する。					
(4)優先性	・ 排水機場の完成により高潮対策は完了したものの、河積が小さく洪水に対しての安全度が低いことから、姫路市南部市街地を浸水被害から防御する当該事業の優先性は高く、また今後5年以内に事業完了させることが可能である。					
再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。			